

まちの話だい

1月15日 | カルタ目がけてジャンプ

相賀小学校で、児童 36 人が参加して「ジャンボカルタ大会」が催されました。

子どもたちがアイデアを出し合った手作りカルタには、学校や地域に関する絵が描かれています。詠み手の声に耳を澄ましていた子どもたちも、読み上げが終わると大きな札に勢いよくジャンプ。会場は、冬の寒さを忘れるほど、元気で温かな雰囲気になりました。



1月15日 | まちの財産を守り抜く

国が定める「文化財防火デー」に合わせて、千葉山智満寺^{ちまんじ}で消火訓練が行われました。

これは、昭和 24 年に発生した法隆寺の壁画を焼失する火災を受け定められたもので、市でも毎年各地の文化財に出向いて訓練を行っています。訓練に参加した自主防災会・消防団・消防署は、かけがえのない文化財を守るため、連携して放水などの手順を確認しました。

1月15日 | 受験突破の願いを込めて

受験シーズンを目前に、旧東海道石畳（金谷坂）にある「すべらず地蔵尊」で年に一度の合格祈願祭が行われました。

この地蔵尊は、石畳に敷き詰められている石が、滑らずに旅人の足元を守ってきたことにちなみ、平成 5 年に有志により建立されました。この日は多くの受験生やその家族が参拝に訪れ、念願成就や無病息災への思いを絵馬に託しました。





1月4日 | 防火への決意を新たに

平成 29 年の島田市消防団出初式が、島田球場やプラザおおりなどで行われ、約 500 人の団員が、防火への決意を新たにしました。

恒例のパレードでは、隊列がラッパ隊の演奏に合わせて、市役所から JR 島田駅前まで消防車両 20 台と共に行進。一糸乱れぬ動きで、消防団の団結力や規律を披露してくれた団員に対し、沿道で見守る多くの市民が拍手を送りました。

1月7日 | 地域の安全・安心を願って

交通事故根絶と防犯のまちづくり推進を訴える「交通安全・防犯パレード、凧揚げ大会」が金谷地区で開催され、約 500 人が参加しました。

パレードは、交通事故の根絶と防犯のまちづくりを啓発する横断幕や大凧を手に、金谷小学校から大井川緑地までを行進。ゴール会場では、子どもたちが自ら描いた絵など、さまざまな図柄の凧を揚げて、地域の安全・安心を願いました。



1月22日 | 新年の吉兆を書で表現

おび通りで開かれた今年最初の「しまだ元気市」で、島田高校書道部の部員 14 人が、書道パフォーマンスを披露しました。

生徒たちが練習を重ね、この日に書き上げたのは、めでたい兆しの雲を意味する「祥雲^{しょううん}」の文字。軽快な音楽に合わせて大小の筆を走らせ、高さ約 2 m 幅約 4 m の大作 2 枚が完成すると、会場の観客からは、大きな拍手が送られました。